

年間指導計画と実践で活用できる事例〔5歳児〕目次

3	5歳児 年間指導計画	60
5歳児 実践で活用できる事例		
	「生活習慣」(生活)	68
	「当番をしっかりとやろう」(生活) 5月	70
	「みんなで高い山を作ろう」(人とのかかわり) 4月	72
	「高齢者との交流」(人とのかかわり) 12月	74
	「しゃぼん玉をとばそう」(学び) 7月	76
	「さつまいもがとれたよ」(学び) 10月	78
	「友達と一緒におばけやしきごっこをしよう」(学び) 1月	80
	「遊園地ごっこ・数・秋の自然」(学び)	82
	「公園で一緒に遊ぼう」(幼児同士の交流活動) 6月	84
	「1年生の朝顔まつりに招待されたよ」 「朝顔まつりをしよう」 (幼児・児童の交流活動) 7月	86
	「ようこそ5年生」 「来年の1年生に小学校のことを教えてあげよう」 (幼児・児童の交流活動) 9月	88
	「1年生といっしょにミニコンサートをたのしもう」 「幼児といっしょにミニコンサートをしよう」 (幼児・児童の交流活動) 11月	90
	「小学校を探検して授業を受けてみよう」 「幼児を学校案内して体験授業のお世話をしよう」 (幼児・児童の交流活動) 2月	92
	「食生活を振り返ってみましょう」(保護者との連携・理解啓発) 6月	94
	「入学に向けて、小学校の生活や学習について 保護者に理解してもらいましょう」 (保護者との連携・理解啓発) 9～10月	96



3 5歳時 年間指導計画

5歳児年間指導計画

4月～5月

3歳児

4歳児

5歳児

1年生

台東区の幼児教育がめざす姿 ○○自然や身近なことに興味をもち、豊かに表現する子供 ○○健康やかな心と体をもち、きまりを守り行動できる子供 ○○やさしさや思いやりをもち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供	ねらい ○進級の喜びを味わい、自分でできることと、友達と遊ぶなかでつながりを感じ、自信をもち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供	生活 ・新しい生活の場や遊具に慣れ、自分なりに動いたり、使ったりする ・手洗い、うがいなど必要に応じて自分から行う ・自分で気付いて衣服の調節を行う ・自分の体調の変化に気づき、周りの大人に伝える ☆生活習慣・学習週間の共通化・段階化 ・新しい環境での片付け方を知り、身の回りを清潔にしたり、整理したりする ・園生活のきまりの必要性に気づき、場の使い方や生活の進め方などを保育士・教員や友達と一緒に考え合い、つくっていく ・友達と同じ場で遊んだり、一緒に動いたりする中でつながりを感じる ・クラスの課題を個々やグループで受け止めて、自分なりに考えて取り組み、できた喜びを味わう ・一つの遊びを共有する中で、めあてに向かって友達と一緒に最後まで活動する喜びを味わう ・友達の動きや言葉を感じ取りながら行動する →P.72 ☆規範意識の芽生えの育成② ・5歳児のクラスになった喜びを感じ、年下の子供たちの世話をし、優しさや親しみの気持ちをもつ	内容 ・思いきり体を動かして遊んだり、自分の力を試したりする ・すすんで戸外に出て友達と体を動かして遊ぶ心地よさを感じる →P.206 →運動・体力の基礎 ☆体力の向上④ ・食事の準備や片付け等を自分から行う ・野菜の栽培をすることで、成長に気づき、自分の体や食物に興味関心をもつ ・箸を正しく持って食事を食べる ・弁当や給食を作ってくれた人への感謝の気持ちをもつ ☆食育① ・前5歳児の当番を引き継ぎ、責任とうれしさを感じながら、当番活動にすすんで取り組もうとする →P.70 ・保育士・教員や友達などに対して自分からあいさつをする ・友達と一緒に当番をする中で、自分なりに当番のやり方を考え、進めていこうとする ・人の役に立つことを認められ、そのうれしさ味わう ・4歳時に経験したことをクラスみんなで繰り返し行いながら、つながりを感じ、クラスの一員としての気持ちをもったり、自分たちの成長を感じたりする ・児童、生徒、地域の方々々と喜んでかかわり親しみをもつ ☆こころざし教育③ 道徳の基礎	
		人のかかわり ○友達と遊ぶなかでつながりを感じ、自信をもち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供	学び ○新しい環境の中で、自分が興味・関心をもつこと、友達と協力して物事をやりとげようとする子供 ・自分の思いや考えを言葉に出して相手に伝える ・保育士・教員、友達の話をよく聞き、内容を理解する ・飼育物に触れ、動きに興味をもったり、世話をしようとしていたりする ・春の自然に関心をもち、触れたり、考えたり、調べたりして親しみをもつ ・身近なできごとについて感じたこと、不思議に思ったことを言葉で表現する ・遊びの中で水、砂、土、泥の特性に気づき、楽しむ ☆生活習慣・学習習慣の共通化・段階化 →言葉・表現の基礎 ・遊びや生活の中に色や数、形等を取り入れて関心をもつ ・簡単な標識、文字等に興味や関心をもつ →文字・数量・図形の基礎	・いろいろな素材に触れ、自分なりに試したり、工夫したりする ・友達との遊びの中で必要なものを考えたり、工夫したりして作ることを楽しむ ・体で感じたリズムや自分たちで考えた動きをのびのびと表現する →表現活動の基礎 ・地域の文化や芸術に触れ、本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ →P.236 ☆地域財産等の活用

幼・保・こ・小の連携	連携のねらい 園児 ・小学校や小学生に興味・関心をもつ	幼児と児童の交流例 ・小学校の運動会練習の見学(5月) ・小学校の運動会への参加
	小学生 ・幼稚園・保育園・こども園や幼児に興味・関心をもつ	保育士・教員と小学校の教員の連携・交流例 ・入学式への参列、手伝い ・小学校1年生の授業参観と意見交換会 →◆P.112 ・年間交流計画の打合せ ・「連携の日」 →P.114
	保育士・教員、小学校の教員 ・1年生の適応状況を把握し、園の指導の改善に活かす ・年間交流計画を確認し合い、見直しをもつ ・保育士・教員と意見交換して小学校の教育活動の改善に活かす	

<年間計画の参考になる資料>①「学校における「食育」の推進」(平成20年度)②「台東区の幼稚園・小学校・中学校のつながりのある楽しい食育」(平成21年度)③「下町台東の美しい心づくり」(平成19年度)④「こころざし高く 教師用指導書」(平成20年度)読み聞かせ資料編 364ページ ⑤「下町こ みんなの約束」

→P. 〇〇

は、関連する事例が掲載してあるページを示す

保育・教育の実践において重視する点(幼児期)

1 主体的な活動、協同的な遊び 2 見る、聞く、話す力の育成 3 計画性・柔軟性のある環境・援助

◆は、平成23年1月発行「ちいさな芽」を参照

環境・援助	保育・教育資料(例)
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活の場を保育士・教員と共に一緒に考えつって行く中で、5歳児になった喜びを味わえるようにしていく ・基本的な生活習慣(身の回りの始末、食事の準備や後片付け、手洗い、うがい等)を見直し、場に応じた生活ができるように、子供と共に考えていく ・園生活のきまりや5歳児ならではの遊具・用具の使い方等、子供と一緒に考え、安全に留意する ・自分のできることをやっという姿勢や気持ちを認め励ましていく ・のびのびと安定した生活を送れるように、生活の流れに沿ってゆったりとした場や時間を設定し、ゆとりがもてるようにする 	<p>《5歳児クラスとしての喜びや自覚を感じながら生活できるように》 当番活動 年下の子供たちとのかかわり 誕生会の司会など園の行事を進めていく活動 5歳児ならではの遊具や用具を使った遊び 手洗い、うがいのポスター</p> <p>《自分たちで生活を進めていこうという気持ちももてるように》 当番活動 生活グループの名前決め 大型積み木や巧技台の使い方を考える</p> <p>《思いきり体を動かしたり、自分の力を試したりできるように》 氷鬼 色鬼 助け鬼 手つなぎ鬼 巧技台 鉄棒 ボール遊び</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子供の気持ちや考えを理解して受容し、保育士・教員との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるなど、情緒の安定した生活ができるようにする ・相手の思いを感じ取れるように、相手の表情や動きに気付かせ思いを言葉にして伝えたり、思いを聞くように援助したりしていく ・自分なりに考えを言葉や動きで出しながら、友達と一緒に取り組んでいく機会を意図的に作るようにする ・よく知っているゲームや運動遊びをしながら、みんなと一緒に動くことを楽しんだり、友達と触れ合うことを喜んだりして、クラスのつながりを感じ取っていきけるようにする ・それぞれの子供の関心のもち方に応じて無理なく異年齢児とかかわる機会をつくり、成長の喜びを共感する <p>・飼育栽培物の世話等は、手順や方法を確認しながら、自分たちで進められるように時間を保障し、援助していく</p>	<p>《相手に対して動いたり、ふれ合ったりする楽しさを感じられるように》 ダンス「トレロカモミロ」「あははのおぼけ」「よろしくね」「ラウンドチェーン」</p> <p>《みんなで遊ぶ楽しさを味わい、クラスのつながりを感じられるように》 助け鬼 ひも取り鬼 椅子取りゲーム ジャンケン 自動車 フルーツバスケット</p> <p>《異年齢の子供とかかわる中で自分の成長を感じられるように》 年下の子供たちとかかわる活動</p> <p>《地域の方と喜んでかかわり、親しみをもてるように》 地域の方を講師として招いて行う活動(お雛の会・飼育指導等) 地域の昔話を聞く活動「たいとうくむかしむかし」II</p> <p>《自分の思いを伝えたり相手の話を聞いたりできるように》 こいのぼり作り グループで体操作り 砂場遊び</p> <p>《学級のつながりを感じられるように》 歌「はためのポルカ」「世界中の子供たちが」「うたえバンバン」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・進級当初は、4歳時に経験した遊びを十分にできるようにする ・興味・関心をもったことに自分からかかわれるように使い慣れている用具や材料を準備する ・遊びのイメージが広がるように素材や遊具を用意し、楽しめるようにする ・自分のしたい遊びが十分にできるよう時間や場所を保障する ・個で取り組んでいる姿や友達と取り組んでいる姿を受け止め必要に応じて、考えていることを整理したり、技能的な援助をしたりして、遊びの満足感を味わえるようにする ・地域の祭りを遊びに取り入れ、地域とのつながりを深めていく ・身近にある自然物の様子を見て関心がもてるように、自然物の絵本、図鑑や虫めがねを用意したり、写真を貼ったりする ・生活や遊びの中で必要感に基づく体験を大事にし、色、数、形、文字等に興味・関心がもてるように環境を整える 	<p>《いろいろな素材に触れ、自分なりに試したり工夫したりできるように》 割り箸 ストロー リボン 空き箱、空き容器 クレープ紙、カラービニール セロファン 折り紙 輪ゴム 両面テープ 油性ペン等</p> <p>《話を理解し、イメージを膨らませ楽しめるように》 絵本「じごくのそうべえ」 物語「いやいやえん」「おしいれのぼうけん」</p> <p>《自然にふれ、考えたり試したり、遊びの取り入れたりできるように》 ダンゴムシ ミミズ ハサミムシ チョウの幼虫 カイコ 花びら 絵本「ざりがに」 図鑑 虫めがね 写真</p> <p>《遊びや生活の中で、色、数、形、文字等に興味・関心がもてるように》 数を意識できる遊具・用具の置き方の工夫 文字を意識した保育環境と援助</p>

3歳児

4歳児

5歳児

一年生

保護者・地域との連携	連携のねらい	連携の例	
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育方針、1年間の教育活動を理解し見直しをもつ ・子供の発達や育ちを知り、就学前教育や家庭教育の大切さを理解する ・保育士・教員に信頼感をもつ ・家庭での生活状況を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会(4月)保護者向け「ちいさな芽」リーフレットの配布 ・家庭訪問 ・個人面談 ・保育参観、保育参加 ・園だより、学級だより等の配布
	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の発達や育ちを知り、就学前教育、園の教育活動や家庭教育について理解する ・地域行事等で子供たちとかかわり、親しみをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加(お祭り) →P. 236 ・動物園、博物館等の活用 ・近隣公園の活用 ・地域の図書館の利用
園児	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に参加し地域への親しみをもつ ・地域の方々とかかわり、親しみをもつ 		

②「幼児の規範意識を育む」(平成20年度)②「幼稚園・小学校の円滑な接続を目指して」(平成18年度)(平成21年度) ④「見つめ直そう 子供の体力」(平成21年度)

3歳児

4歳児

5歳児

1年生

台東区の幼児教育がめざす子供の姿		ねらい		内 容	
<p>健康やかな心と体をもち、きまりを守り行動できる子供</p> <p>やさしさや思いやりの心をもち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供</p> <p>自然や身近なことに関心をもち、自ら考え、豊かに表現する子供</p>	3つの柱	生活	<p>○生活に必要ないこうとするに気付く、自分たちですべて必要ないこうとするに気付く、自分</p> <p>・手洗い、うがいを必要に応じて自分から行う</p> <p>・汗の始末や衣服の調節を自分で行う</p> <p>・水分や休息の取り方に気付き、自分ですすんでしようとする</p> <p>・自分の体調の変化に気付き、周りの大人に伝える</p> <p>★生活習慣・学習習慣の共通化・段階化</p> <p>・保育室や遊具・教材等を共有する意識をもち、大切にしたりきれいに整えたりする</p> <p>・一日の生活の流れに見通しをもって行動するようになる</p> <p>・自分たちの生活に必要なことに気付き、互いに声を掛け合って行動する →P. 224</p> <p>・プール遊びや水遊びの約束が分かり、守る</p>	<p>・友達とのつながりを感じながらリズムカルな動きをしたり、思いきり体を動かしたりして遊ぶ</p> <p>・いろいろな運動に興味を広げ、十分に体を動かして遊ぶ</p> <p>・自分の目標に向け挑戦し、できた満足感を味わう</p> <p>→運動・体力の基礎</p> <p>★体力の向上④</p>	<p>・栽培している植物の収穫を喜び、友達と一緒に何でも食べてみようとする</p> <p>・栽培、収穫、味わうこと等を体験し、野菜が体の成長にとって大切な食べ物であることを知る</p> <p>・栽培を通して世話をすることの大変さを実感し、作ってくれた人への感謝の気持ちをもつとともに、食べ物を大切にしようとする</p> <p>→P. 196</p> <p>★食育①</p>
		人のかかわり	<p>○自分の思いや考えを伝えたり相手の思いを受け入れたりする</p> <p>・自分の思いを伝えたり相手の思いを受け入れたりする中で互いの気持ち分かるように表現しようとする</p> <p>・友達と相談して遊ぶ場所を作ったり、話し合ったり遊遊を進めたりする</p> <p>・友達とイメージや考えを出し合い、試したり、工夫したりして遊遊を進めていく</p> <p>★規範意識の芽生えの育成②</p> <p>・異年齢児と一緒に遊ぶことを通して、優しく接したり相手に分かるように表現しようとする</p>	<p>・公共の場でのきまりや行動の仕方を理解し、みんなで気持ちよく生活できるようにする</p> <p>・遊びに必要なルールを友達と考えたり決めたりしながら遊遊を進める</p> <p>★規範意識の芽生えの育成②</p> <p>・異年齢児と一緒に遊ぶことを通して、優しく接したり相手に分かるように表現しようとする</p>	<p>・保育士・教員や仲のよい友達に進んであいさつをする</p> <p>・グループの友達に必要なことを伝え合いながら、自分たちで協力して当番活動をする</p> <p>・児童、生徒、地域の方々とかかわり、あこがれの気持ちをもつ</p> <p>→P. 180</p> <p>→◆P. 88</p> <p>★こころざし教育③</p>
		学び	<p>○目的をもつて、自分なりに遊遊や考えた工夫を味わう</p> <p>・自分の伝えたいことを言葉で伝える</p> <p>・経験したこと、感じたこと、考えたことなどをみんなに分かるように言葉で伝えようとする</p> <p>・クラスの友達と一緒に絵本や物語の内容に興味をもって聞き、イメージや言葉を豊かにする</p> <p>・目的をもって、考えたり、工夫したり、試したり、挑戦したりする →P. 76</p> <p>・遊びの中で自分なりの課題をもち、繰り返し取り組み、自分の力を発揮する</p> <p>・夏の自然や水に親しんだり、遊びに取り入れれたりする中で関心や疑問をもつ</p> <p>・動植物の成長を楽しみにしたり、自然の不思議さを感じたり、自分で育てる喜びや収穫の喜びを味わったりする</p> <p>・身近な動植物に興味や親しみをもち、すすんで世話をしながら変化に気付く</p> <p>・身近なできごとに興味・関心をもち、感じたこと等を言葉で表現したり、遊びに取り入れれたりする</p> <p>→言葉・表現の基礎</p> <p>★生活習慣・学習習慣の共通化・段階化</p>	<p>・自分なりのイメージが実現できるように、素材や遊具を選んで使う</p> <p>・歌詞や曲のイメージをもち、みんなで歌ったり、簡単な合奏をしたりすることを楽しむ</p> <p>→表現活動の基礎</p> <p>・地域の文化や芸術に触れ、本物を知る経験を通して地域への誇りや愛着をもつ</p> <p>→P. 86</p> <p>★地域財産等の活用</p>	

連携のねらい		幼児と児童の交流例	
園児	・小学校や小学生に興味・関心をもち、かかわりを楽しむ	・小学校の運動会への参加、参観	・「1年生の朝顔まつりに招待されたよ」 →P. 86
小学生	・幼稚園・保育園・こども園の幼児に興味・関心をもち、かかわりを楽しむ	・交流活動	→◆P. 88
保育士・教員、小学校の教員	・年少者にかかわる中で、自分の成長を感じる(1年生)	・幼稚園の保育参観(6月～7月)	・保育参観の打ち合わせ会 →◆P. 115
	・年少者にかかわる中で自己有用感をもつとともに、最高学年に向けて責任感をもつ(5年生)	・保育園・こども園の保育参観(8月)	・幼児同士の交流活動 →P. 84
	・発達の特徴や実態を把握し、指導観、指導方法、環境等についての共通理解を図る		
	・園の幼児の生活の様子を把握し、2学期の教育活動の打ち合わせを具体的にを行い、幼児と児童の交流に活かす		

<年間計画の参考になる資料>①「学校における「食育」の推進」(平成20年度)②「台東区の幼稚園・小学校・中学校のつながりのある楽しい食育」(平成21年度)③「下町台東の美しい心づくり」(平成19年度) ③「こころざし高く 教師用指導書」(平成20年度)読み聞かせ資料編 364ページ ③「下町っこ みんなの約束」

→P. 〇〇 は、関連する事例が掲載してあるページを示す

◆は、平成23年1月発行「ちいさな芽」を参照

保育・教育の実践において重視する点(幼児期)

1 主体的な活動、協同的な遊び 2 見る、聞く、話す力の育成 3 計画的・柔軟性のある環境・援助

環境・援助	保育・教育資料(例)
<ul style="list-style-type: none"> 自分から気付いて衣服の調節や汗の始末、水分補給や休息などができるようにクラスで話を取り上げたり、一人一人に言葉を掛けたりしていく 生活の中で気付いたことや問題等をみんなの問題として取り上げ、幼児同士で考える機会をつくっていく 生活に必要なことに気付けるよう、掲示物を活用したり、言葉を投げ掛けたりする 自分たちで声を掛け合って生活を進めていこうとする姿を認めていく プール遊びや水遊びは、安全面や衛生面に十分配慮しながら一人一人が目的をもって楽しめるようにする 安全な遊び方に気付かせ、場の取り方を考えたり、ルールを決めたりできるようにする 	<p>《季節の変化に合わせた健康管理ができるように》 手洗い、うがいの励行 汗の始末</p> <p>《生活に見通しをもち、必要なことに気付き、互いに声を掛け合って行動できるように》 時計、日程表、カレンダーの活用</p> <p>《友達とのつながりを感じながら自分の力を出し、思いきり体を動かせるように》 氷鬼 ドンジャンケン(チームあり) 助け鬼 手つなぎ鬼 ジャンケン助け鬼 プール遊び 縄跳び 鉄棒</p> <p>《季節ならではの遊びを通して思いきり体を動かせるように》 プール遊び 水鉄砲</p>
<ul style="list-style-type: none"> 自分なりに当番の手順や、やり方を考えながら行動ができるよう、場面をとらえて認めたり、励ましたりする グループでの活動を意図的に取り入れ、自己発揮しやすい環境を作り、友達と力を合わせることで、できた、楽しかったという思いがもてるようにする 自分の思いを表現し、友達に伝えている姿を認めたり、伝えたいことが相手に伝わらない時には援助したりする 友達の考えを意識したり気付いたりできるように言葉を掛けていく 友達と思いを出し合ったり受け入れあったりして遊びが進めていけるように、友達と一緒に考えながら、遊びに必要な場や物作りができる材料・用具を用意する 集団遊びや運動遊びでは、ルールを守ることで遊びの楽しさが増すことを実感できるようにし、併せて公平さにも気付かせていく 遊びの中で十分に体を動かし、気持ちを発散させながら、遊びのルールが分かったり、共通のルールで遊ぶ楽しさを感じたりできるような環境をつくる 小学生、中学生、高校生等、年齢が近い年上の人とかかわる機会をもつ 	<p>《友達と相談しながら取り組めるように》 グループジャンケン スリーヒントゲーム お話作り 合奏 誕生会の司会 飼育当番</p> <p>《友達と考えながら遊びに必要な場や物を作るように》 段ボールを使った場作り(段ボールカッター・粘着テープ) 空き箱などを使った製作</p> <p>《友達と声を聞き合い、一緒に歌うことを楽しめるように》 歌「かえるの合唱」「森のくまさん」「友達讃歌」</p> <p>《ルールを守ることで遊びの楽しさが増すことを実感できるように》 ラインサッカー ドッジボール ジャンケン鬼 リレー 助け鬼 ひも取り鬼</p> <p>《中学生・高校生、地域の方々とかかわりあこがれの気持ちをもてるように》 ボランティア 職場体験 地域の方々を講師として招き行う活動(警察の方による安全指導・ミニコンサート「俳句の会」等) 地域の昔話を聞く活動「たいとうくむかしむかし」ⅠⅡ</p>
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が十分に試したり工夫したりできるような時間を保障しながら、素材や用具・遊具を準備し、そのおもしろさや扱い方を知らせていく 共通のイメージがもてるような絵本や物語をクラスで読んだり、遊びの流れができるような表現遊び等を意図的に取り入れたりしていく 自分なりに取り組むことができる環境、挑戦できる環境を準備する 季節を感じる歌やリズムミカルな曲を取り入れていく 身近な動植物等にかかわっていく中で、子供の発見や感動に共感しながら、興味・関心を高めていく 自然に触れ合う機会を大事にし、遊びの中に取り入れて、試したり工夫したりできる場をつくる 飼育物の世話をする中で、愛情をもったり、日々の成長や変化に気付いたりする姿を認めていく 身近なできごとに関心がもてるような環境をつくったり、話題を提供したりしていく 生活や遊びの中で必要感に基づく体験を大事にし、数、量、形、文字、数字等に興味・関心がもてるように環境を整える 	<p>《一人一人が十分に試したり工夫したりできるように》 製作活動(セロファン、牛乳パック、段ボールカッター、千枚通し、発砲スチロール板、ホース、ストロー、ペットボトル、針金、紐など) 色が出る木の葉や花・葉を使った色水遊び(すり鉢、すりこぎ)</p> <p>《課題に向け、繰り返し取り組み自分の力を発揮できるように》 七夕かざり お話作り 縄跳び サッカー ドッジボール 鉄棒</p> <p>《イメージが共有され遊びに再現できるように》 絵本「はじめてのキャンプ」「からすのパンやさん」 「にじいろのさかな」「くれよんのくろくん」 「かいじゅうたちのいるところ」</p> <p>《水にかかわり自分なりに試したり工夫したりできるように》 船作り 水路作り シャボン玉 色水遊び</p> <p>《季節を感じたり、イメージを広げたりすることを楽しめるように》 歌「あめふりくまのこ」「あめふり」「かたつむり」「きらきらぼし」 「ゆうやけこやけ」 絵本「だんまりこおろぎ」</p> <p>《自然を遊びに取り入れ、試したり工夫したりできるように》 虫捕り(虫捕り網、飼育ケース) 色が出る木の葉や花・葉を使った色水遊び(すり鉢、すりこぎ)</p> <p>《遊びや生活の中で、色、数、形、文字などに興味・関心がもてるように》 数を意識できる遊具・用具の置き方の工夫 文字を意識した保育環境と援助</p>

3歳児

4歳児

5歳児

一年生

保護者・地域との連携

連携のねらい	
保護者	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の子供の成長を喜ぶ 夏休みを前に園との連携を密にする(幼稚園) 2学期の教育方針や教育活動について理解する
地域	<ul style="list-style-type: none"> 子供の発達や育ちを知り、就学前教育や家庭教育について共通理解する 地域行事等で子供たちとかかわり、親しみをもつ
園児	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加し、地域への親しみをもつ 地域の方々とかかわり、親しみをもつ

連携の例

- 保護者会(9.10月) →◆P. 96
- 保育参観 →P. 94
- 個人面談
- 災害時引取り訓練
- 園だより、学年だより等の配布

☆**地域財産等の活用**

- 近隣公園の活用
- 地域の図書館の利用
- 清島温水プール、柳北スポーツプラザの活用
- 地域の行事への参加(お祭り、朝顔市、盆踊り等) →P. 86

②「幼児の規範意識を育む」(平成20年度)②「幼稚園・小学校の円滑な接続を目指して」(平成18年度)(平成21年度) ④「見つめ直そう 子供の体力」(平成21年度)

→P. 〇〇 は、関連する事例が掲載してあるページを示す

◆は、平成23年1月発行「ちいさな芽」を参照

保育・教育の実践において重視する点(幼児期)

1 主体的な活動、協同的な遊び 2 見る、聞く、話す力の育成 3 計画性・柔軟性のある環境・援助

環境・援助	保育・教育資料(例)
<p>特に、幼児教育から小学校教育への移行における「段差」を乗り越えるための環境・援助には 段 のマークをつけた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが生活習慣や生活の仕方について気付いたり、考えたりする機会を作る 段 就学を意識し必要な生活習慣・態度が身に付いているか個々の育ちを確認し、家庭と連携しながら指導していく 段 生活の見通しをもてるよう、時計の針やカレンダーなどの活用や生活の流れがみんなに分かるような表示の仕方を工夫する ・生活の中で気温の変化を感じ取りながら、自分で調整する方法を考えていけるよう援助していく ・友達と力を認め合い、自分の力を発揮していく楽しさを味わえるような運動遊びの場や遊具・用具を準備する ・互いの力が発揮できたり、グループでの協力を必要としたりするような活動を多くし、互いのよさに気付くようにする ・友達とのかかわりの中で互いの思いを理解できるよう、言葉で思いを伝えられるようにしていく ・クラスみんなで気持ちを合わせていく心地よさを味わいながら、それぞれのよさを認め合ったり、クラスのつながりを感じたりすることができる機会をつくる ・自分の思いや考えを伝えたり友達の思いや考えを取り入れたりすることで遊びや生活が楽しくなることに気付かせていく ・じっくり取り組める時間・場の確保・互いに刺激し合える場の取り方等環境を工夫する ・イメージが共有できるような絵本や曲を提示したり、共通の感動体験ができる機会をもったりする ・人の嫌がることをすることは、自分自身、嫌な気持ちがするという共感性を機会を捉えて育ていく ・一人一人が自分の課題に向かって繰り返し挑戦する姿を励ましたり、認めたりする ・自分の課題をやりとげた喜びを味わえるように、自分なりの目的に向けて試したり工夫したりできる素材・用具・遊具・時間・場を整える。 ・子供たち同士で表現を楽しんでいる姿を認め、イメージを膨らませることができるように一緒に考えたり工夫したりする。また、互いに見合う時間と場を確保する ・歌詞や、曲想を感じ取ったり、声を合わせて歌う気持ちよさを感じたりしながら、クラスの友達とのつながりが深まるような曲を選んで用意する。 ・子供が試行錯誤し考えをめぐらせることができるよう子供の気付きを受け止め、興味関心を深めるような物を提示したり友達に広げたりなどしていく ・子供の発見や驚きなどに共感したり感動したりし、保育士・教員自身が自然の変化などを敏感に感じ取るようにする ・経験したことや自分の考えや思いをクラスの友達の前で分かるように話したり、友達の話の聞いたりする場を設ける ・遊びの中で必要感に基づく体験を大事にし、文字・数量・図形に興味・関心がもてるように環境を整える ・ユニバーサルデザインを意識し、指導方法や環境設定を工夫する 	<p>《一日の流れや時間の見通しをもてるように》 当番活動 時計・日程表・カレンダーの活用 《1年間を月ごとに振り返ったり、季節の流れを感じられるように》 歌「カレンダーマーチ」</p> <p>《季節の変化に合わせた健康管理ができるように》 手洗い・うがいの励行 薄着の奨励</p> <p>《友達と力を認め合い、自分の力を発揮し運動遊びを楽しめるように》 ドッジボール リレー 宝取り鬼 手つなぎ鬼 助け鬼 サッカー</p> <p>《友達と共通の目的をもち、試したり工夫したりして遊びや生活を進めていくように》 イメージを共通にする絵本・物語の提示 童話「エルマーのぼうけん」「ロボットカミイ」など お話作り(ペープサートなど) 劇 音楽会ごっこ 運動会に必要なものを作る活動 当番活動 誕生会の司会</p> <p>《地域の方とかかわり親しみをもてるように》 地域の方を講師として招き行う活動(音楽鑑賞・お茶の会等) 高齢者との交流活動(特養老人ホーム 老人保健施設等) 地域の昔話を聞く活動</p> <p>《自分なりの課題をもって取り組み、試したり工夫したりし、自分の力を発揮し、やりとげた満足感を味わえるように》 鉄棒 縄飛び 投げごま 毛糸編み 楽器遊び リースの製作 《友達と考えを出し合いながら、表現を楽しめるように》 生活発表会に向けての活動 《季節の変化を感じ、遊びや生活に取り入れるように》 芋ほり どんぐり拾い さつまいものつるで遊ぶ さつまいものつるのリース作り どんぐりやまつぼっくりを使った製作 スイセン、チューリップなどの球根植え 地域の行事(西の市・羽子板市など)の見学 近隣公園の活用 年賀状づくり 大掃除 絵本「ひやしんす」「どんぐりかいぎ」「どんぐりノート」 「学研の図鑑 気象」「おおきなおおきなおいも」 《文字や数量、図形に関する感覚を豊かにするために》 しりとり 言葉集め いもの大きさ・重さ チケット、看板、メニューなどへの関心(ごっこ遊びに必要なもの) ルールのある遊びにおける人数や欠席者の人数への関心 歌「アの子がつくから～あいうえおの歌」</p>

3 歳児

4 歳児

5 歳児

一年生

保護者・地域との連携		連携のねらい		連携の例	
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や生活発表会等の行事への取組を通して子供の成長を感じる ・交流のよさや小学校生活について理解する ・基本的な生活習慣・学習面の資質能力について改めて考え、家庭での取組に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、生活発表会等の参観・参加 ・小学生との交流活動の参観 ・園だより、学年だより等の配布 	地域	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の発達や育ちを知り就学前教育や家庭教育の大切さを理解する ・地域行事等で子供たちとかかわり親しみをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・西の市、羽子板市の見学 ☆地域財産等の活用 ・図書館等の利用 ・近隣公園の活用(秋の自然)
園児	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に参加し地域への親しみをもつ ・地域の方々と親しみをもってかかわる 				

②「幼児の規範意識を育む」(平成20年度)②「幼稚園・小学校の円滑な接続を目指して」(平成18年度)
(平成21年度) ④「見つめ直そう 子供の体力」(平成21年度)

5歳児年間指導計画 1月～3月

3歳児

4歳児

5歳児

一年生

台東区の幼児教育がめざす姿
 ○健康やかな心と体をもち、きまわりを守り行動できる子供
 ○やさしさや思いやりをもち、友達と協力して物事をやりとげようとする子供
 ○自然や身近なことに興味をもち、自ら考え、豊かに表現する子供

ねらい		内容	
3 つ の 柱	生活	<p>て○就学への期待をもち、見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の健康や病気の予防等に関心をもち、手洗い・うがい、衣服調節等をすすんで行う ・自分の体調の変化に気付き、周りの大人に伝える ☆生活習慣・学習習慣の共通化・段階化 <p>→P. 208</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊具や用具を使い十分に体を動かし、集団遊びを楽しむ ・自分の目標に向けて挑戦し、自信をもつ <p>→P. 208</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と誘い合い、戸外での遊びを楽しむ <p>→運動・体力の基礎 ☆体力の向上④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に見通しをもち、状況に応じてすすんで行動する ・危険な場所や遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する ・横断歩道の標識・信号の意味が分かり、安全に気を付けて歩く ・修了に向けて活動に見通しをもち意欲的に取り組む ・飼育物の世話など自分たちがしてきたことを4歳児に分かりやすく優しく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の大切さが分かり、マナーを守って楽しく食事をする ・体と食物の関係に関心をもち、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちをもつ ・季節の行事に参加して行事食を食べることを楽しむ ・いろいろな食べ物に興味・関心をもち自分が食べている物の名前が分かる <p>☆食育①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気よくあいさつや返事をする ・生活や遊びの中で、人の役に立ったという思いを味わう ・1年生になることに喜びや期待をもち自信をもって行動する ・自分の成長を感じ、周りの人への感謝の気持ちをもつ <p>→P. 182</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と喜んでかわり、親しみをもつ <p>☆こころざし教育③</p> <p>→ 道徳の基礎</p>
	人とのかかわり	<p>いり○友達と役割を分担し、力を合わせて遊びや生活を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでルールのある遊びに取り組み、チームの仲間意識をもって動くことを楽しむ ・グループの友達と役割を分担し、力を合わせて遊びや生活を進める ・互いのよさが分かり、協同しながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう <p>→◆P. 172</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の基本的なきまりを理解し、自ら守ろうとする ・簡単なルールを作り出し、友達と一緒に遊びを発展させる中で、守ろうとする。 ・よいこと、悪いことに気付き、考えながら行動する ・互いに気持ちよく過ごすために、自分の意志や行動をコントロールしようとする <p>☆規範意識の芽生えの育成②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国籍、文化の違う人や身近な人のかかわりの中で自己主張したり人の立場を理解したりして行動する ・相手の気持ちを考えながら、話したり聞いたりして、自分の感情をコントロールしようとする ・異年齢の子供とのかかわりを深め、思いやりやいたわりの気持ちをもつ ・友達と喜びや悲しみなどを共感し合う ・動植物の飼育、栽培に興味や関心をもち世話をする中で命の尊さを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と喜んでかわり、親しみをもつ <p>☆地域財産等の活用</p> <p>→P. 238</p>
	学び	<p>じり○課題に主体的に取り組む喜びを越え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えが相手に伝わるように考えて話す ・相手の話を聞く必要性や聞く楽しさを感じる ・話(会話・絵本・童話)の内容を理解し、言葉の使い方・楽しさ・美しさに気付く ・友達と共通の目的をもち、感じたことや考えを言葉で伝え、受け止め合いながら遊ぶ楽しさを味わう ・自分なりの課題に向かって、あきらめずに取り組みやりとげた喜びを味わう <p>→P. 80</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器・教材・用具などを自分たちで選び、感じたことや考えたことをいろいろな表現方法で表すことを楽しむ ・イメージを友達と一緒に動きや言葉などで表現したり演じて遊んだりすることを楽しむ <p>→P. 80</p> <p>→表現活動の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字や数量、簡単な標識や時間、身近な社会事象に関心をもち、自分たちの遊びや生活に取り入れる <p>→文字・数量・図形の基礎</p> <p>☆生活習慣・学習習慣の共通化・段階化</p> <p>→言葉・表現の基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と喜んでかわり、親しみをもつ <p>☆地域財産等の活用</p> <p>→P. 238</p>

幼・保・こ・小の連携

連携のねらい	
園児	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生に親しみ入学に期待をもつ ・自分の成長を感じる
小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・年少者にやさしく接し、自分の成長を感じ、自己有用感をもつ
保育士・教員、小学校の教員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度入学する幼児の実態や指導の接続を図る上で必要な留意事項の相互理解を図る ・連携により得た情報を入学前後の指導に活かす ・互いの教育について理解を深める

幼児と児童の交流例
 ・学校探検
 ・体験授業 →◆P. 92
 ・交流給食

保育士・教員と小学校の教員の連携・交流例
 ・次年度連携交流計画作成
 ・入学に向けての情報交換会 →P. 96 →◆P. 78
 ・幼稚園幼児指導要録、認定こども園こども要録、保育所児童保育要録の送付

<年間計画の参考になる資料>①「学校における「食育」の推進」(平成20年度)①「台東区の幼稚園・小学校・中学校のつながりのある楽しい食育」(平成21年度)③「下町台東の美しい心づくり」(平成19年度) ③「こころざし高く 教師用指導書」(平成20年度)読み聞かせ資料編 364ページ ③「下町っこ みんなの約束」

→P. 〇〇 は、関連する事例が掲載してあるページを示す

◆は、平成23年1月発行「ちいさな芽」を参照

保育・教育の実践において重視する点(幼児期)
 1 主体的な活動、協同的な遊び 2 見る、聞く、話す力の育成 3 計画的・柔軟性のある環境・援助

3歳児

4歳児

5歳児

1年生

環境・援助	保育・教育資料(例)
<p>① 就学に向けて自分でできることを増やし、できたことで自信をもたせていく</p> <p>② 就学に向けて必要な生活習慣・態度が身に付いているか個々の育ちを確認し、家庭と連携しながら指導していく</p> <p>③ 保育園においては子供の実態に応じ、午睡時間を徐々になくしていく。就学後の生活へスムーズに適應できるように配慮する</p> <ul style="list-style-type: none"> 寒さに負けず体を動かして遊べる活動を意図的に取り入れる 自分たちのしてきたことを4歳児に伝えたい気持ちを大切にしながら、相手の立場に立って伝えられるようにする <p>④ 1年生への期待や意欲をもって生活できるように子供の気持ちを十分に受け止め認め励ましながら気持ちが高まるように援助する</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供たち同士で身の回りの安全面や生活の仕方など気付いたり考えたりすることができるように投げかけていく <p>⑤ 就学に向けて、自分で道路を安全に歩けるよう意識付け、安全指導を行う。家庭への啓発をさらに行う</p> <p>⑥ クラスで集まって落ち着いて行う活動を意識的に取り入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> 国旗に親しみをもてるようにする。 	<p>《修了・卒園までの日程、一日の流れや時間の見直しをもてるように》 当番活動 時計・日程表・カレンダーの活用 修了・卒園までの日めくり 歌「月火水木金土日のうた」</p> <p>《季節の変化に合わせた健康管理ができるように》 手洗い・うがいの励行 薄着の奨励</p> <p>《寒さに負けず体を動かすことを楽しめるように》 縄跳び 凧あげ 鬼遊び</p> <p>《クラスで集まり落ち着いて取り組めるように》 園生活を振り返る活動 修了式・卒園式・修了お祝い会に向けての活動 継続童話の読み聞かせ</p>
<ul style="list-style-type: none"> 入園時から振り返り、一人一人の成長をともに喜ぶ 自分たちで遊びを作る楽しさや充実感が味わえるようにし、自分の思いや考えを出し合ったり受け入れあったり認め合ったりして、遊びを進めていけるようにする 友達同士で十分に考えや思いを言い合う機会を保障し、やりとりの中で状況を考え、自己コントロールできるようにしていく <p>・仲間(チーム)意識をもち、友達と作戦を考えたりみんなで力を合わせたりして楽しめるようにする</p> <p>・子供同士が受け入れあったり認め合ったりする姿を信頼し見守っていくようにする また、友達と互いのよさを認め合える心地よさに共感し見守るとともに、雰囲気を大切に</p>	<p>《一人一人の成長をともに喜べるように》 園生活を振り返る活動 修了式・卒園式・修了お祝い会に向けての活動 《友達と共通の目的をもち、役割を分担し力を合わせて遊びや生活を進めていけるように》 遊園地ごっこ、学校ごっこ、スキーごっこなどのごっこ遊び 誕生会</p> <p>《友達とのつながりや友達の大切さを感じられるように》 歌「みんなともだち」</p> <p>《チーム意識をもち友達と協力して遊べるように》 宝取り鬼 三すくみ鬼 サッカー リレー</p> <p>《地域の方とかかわり親しみをもてるように》 地域の方を講師として招き行う活動(音楽鑑賞・お茶の会等) 高齢者との交流活動(特養老人ホーム 老人保健施設等) 地域の昔話を聞く活動</p>
<p>・自分なりに考えたり、試したり、挑戦したりすることが繰り返し楽しめる材料や場を用意する</p> <p>・ユニバーサルデザインを意識し、指導方法や環境設定を工夫する</p> <p>・様々な事物や具体的な体験を通して、文字・数量・形・位置・時間などについての感覚が養われるように配慮する</p> <p>・クラスの課題を自分のものとしていけるように、課題の内容や取り組み方を分かりやすくし、自己を十分に発揮して活動できるように配慮する</p> <p>・表現しようと思うもののイメージが豊かにわくような雰囲気をつくり、様々な材料や用具を適切に使えるようにしながら表現する喜びが味わえるよう配慮する</p> <p>・季節の移り変わりを風や空気の冷たさや日差しの暖かさで実感したり動植物の変化にも興味をもてるようにしたりする</p>	<p>《自分なりの課題に向かって考えたり試したり挑戦したりできるように》 投げこま 縄跳び 鉄棒 凧あげ 凧作り(竹ひご ビニール たこ糸) 鬼のお面づくり 編み物(すずらんテープ 毛糸) ひな人形作り</p> <p>《就学への期待をもてるように》 学校ごっこ ランドセルづくり(鉛筆 線をなぞれるプリント) アルバムづくり 自分の作品の整理 段学校探検 段交流給食 歌「ドキドキン! 1年生」「はじめの一步」 絵本「おおきくなるっていいこと」「1年生になるんだもん」</p> <p>《イメージを膨らませ表現する喜びを味わえるように》 遊園地ごっこ、スキーごっこ、学校ごっこなどのごっこ遊び (段ボール 段ボールカッター ポンド 粘着テープ) イメージを膨らませるような絵本 「わんぱくだんのゆきまつり」「エルマーのぼうげん」 イメージを膨らませるような音楽</p> <p>《文字・数量についての感覚を豊かにする》 しりとり 言葉集め カルタ カルタ作り すごろく すごろく作り チケット、看板、メニューなどへの関心(ごっこ遊びに必要なもの) ルールのある遊びにおける人数や欠席者への関心</p> <p>《季節の変化を感じられるように》 ヒヤシンスの栽培 チューリップなどの芽 氷作り 絵本「十二支のはじまり」</p>

連携のねらい		連携の例
保護者	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の教育方針や教育活動について理解する 小学校生活や学習、入学前や入学当初の保護者のかかわり方について理解する 子供の成長を喜び合う 	<ul style="list-style-type: none"> 入学に向けての保護者会 学年末保護者会 修了式、修了お祝い会、卒園式への参列 近隣の園の修了式、修了お祝い会、卒園式、小学校の卒業式への参加 園だより、学年だより等の配布
地域	<ul style="list-style-type: none"> 子供の発達や育ちを知り就学前教育や家庭教育の大切さを理解する 地域行事等で子供たちとかかわり、親しみをもつ 	<p>☆地域財産等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣施設の見学 台東区郷土かるた等の活用 <p>→P. 238</p>
園児	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に参加し地域への親しみをもつ 地域の方々と親しみをもってかかわる 	

②「幼児の規範意識を育む」(平成20年度)②「幼稚園・小学校の円滑な接続を目指して」(平成18年度)
 (平成21年度) ④「見つめ直そう 子供の体力」(平成21年度)

5歳児 実践で活用できる事例

3歳児

4歳児

5歳児

1年生

生活

人とかかわり

学び

3つの柱

生活 (例)

「生活習慣」

5歳児



ねらい

○生活に見通しをもち、状況に応じて行動する

◆保育・教育の実践において重視する点

- 1 主体的な活動、協同的な遊び
- 2 見る、聞く、話す力の育成
- 3 計画性・柔軟性のある環境・援助

経験させたい内容

◎「カレンダー」「一日の流れ」「時計」「当番表」を見るなどして、生活に見通しをもって行動する

《活動の流れ》

- ・見通しをもって生活できるように、行事予定を書き入れた「カレンダー」、時計や絵、文字で示した「一日の流れ」や「当番表」を幼児が見やすい場所に掲示しておく。
- ・降園時など一斉に集まる場面で、「カレンダー」「一日の流れ」「当番表」を活用し、幼児とともに生活の流れを確認し、活動への期待をもたせ、自分たちの生活について考える場面をつくる。

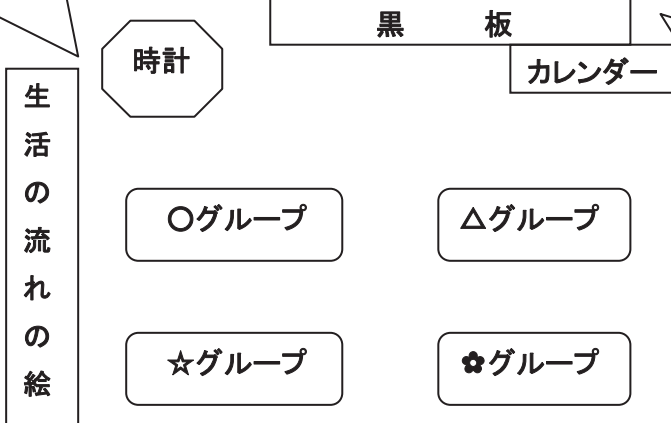
※重視する事項「生活習慣・学習習慣の共通化・段階化」(P.216)を参照。

《環境 保育室》

・生活でよく使う時刻の数字に、注目しやすいシールなどを貼り、目印にする

・子供が見て分かりやすいよう書き込みのできる大きめのカレンダーを用意する

・今日の日を確認するために日めくりカレンダーと当番表を掲示する



表示例

片付け 11じ25ふん 長い針が5
みんなでソーランぶし

・視覚からの情報がより入りやすいことを活用し、一日の活動の大まかな流れを「絵カード」で示す
・時計の下に位置する場所に掲示し、時計と連動して見ることができるようにする

《活動の展開》

子どもの姿	保育者の援助・環境の再構成 下線は経験させたい内容にかかわる援助
<p>○朝のあいさつをして自分の持ち物を決められた場所に置く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活の流れの掲示を見る。 ・それぞれ好きな遊びを楽しむ。 <p>○集まる時間が近づいて、気付いて片付け始める姿や気付かずに遊んでいる姿、気付いてもまだ大丈夫と遊んでいる姿がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うすぐ“長い針が5”だ、片付けなくっちゃ。」 「もっと遊びたいけどね。」 「だめだよ“5”になっちゃうよ。」 <p>○子どもたちの様々な声と同時に片付けが始まる。</p> <p>○「もっと、元気よく手を動かした方がいい。」</p> <p>「大きい声を出した方がよい。」などの意見が出る。</p> <p>○「運動会は9日。」「あと5日だね。」などと話す。</p> <p>○「ソーラン節」の練習を全員が張り切って行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楽しいね。」 ・「もっとやりたいね。」 <p>○給食当番は準備を済ませ配膳をはじめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇グループは5人だね。」と互いに人数確認をする。 <p>○給食後、金魚当番は金魚にえさをやる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで決められた分量のえさをやる。 ・水槽の汚れに気づき保育者に伝える。 <p>○午睡後、ござ巻き当番は布団が押入れにしまわれた後に巻き始める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綺麗に巻かないと所定の場所に入らないことを意識して巻く。うまくできるまで繰り返し行う。 <p>○おやつを食べた後グループごとに席に着く。</p> <p>○今日の遊びや生活について話し合う。</p> <p>「明日もソーラン、がんばりたい。」</p> <p>○今日の当番が、明日の当番の確認をする。</p>	<p>○「今日の一日の流れ」を時計の絵や文字で掲示しておく。</p> <p>○掲示に気付かせたり、今日の活動に期待をもたせるような言葉かけをしたりする。</p> <p>○子どもたちの自主性に任せながらも、<u>状況により「そろそろ“5”だけ大丈夫？」</u>など声がける。</p> <p>○「<u>自分たちで片付け始めているんだね。</u>」と自分から始めたことを認めたり、「<u>ソーラン節、早くやりたいね。</u>」と次の活動に期待をもたせたりなど、<u>子どもたちの片付けの取組に応じて援助する。</u></p> <p>○片付けが終わったらグループごとに席に着くように伝える。</p> <p>○全員が席に着いたことを確認する。</p> <p>○カレンダーを示し今日の日いち、曜日の確認をする。</p> <p>○これから取り組む「ソーラン節」の踊りについて、子どもたちの今までの取組を認め、さらにすてきになるのはどうしたらいいか、全体で話し合う。</p> <p>○<u>運動会までの日数を確認し、期待をもたせ意欲を高める。</u></p> <p>○集中し、楽しんで練習できたことを認める。</p> <p>○給食当番が安全に配膳できるように、配膳台を整えておく。</p> <div data-bbox="1177 1391 1337 1554" style="text-align: center;"> </div> <p>○クラス全員で、一日を振り返る時間をとる。</p> <p>○<u>運動会に向けての取組について話し合い、次の日にすることを相談し、活動への期待と見通しをもって登園できるようにする。</u></p> <p>○明日の当番が意識をもてるように、相手に分かるように伝えること、相手の話をきちんと聞くことを配慮する。</p>

《小学校につながる点》

○見通しをもち園生活を送ることができることは小学校入学後においても自ら考えて行動できることにつながる。

3歳児

4歳児

5歳児

一年生

生活

人とかかわり

学び



重視する内容

生活 (例)

「当番をしっかりやろう」(当番活動)

5歳児 5月

《ねらい》

○前5歳児の当番を引き継ぎ、責任とうれしさを感じながら、当番活動にすすんで取り組もうとする。

◆保育・教育の実践において重視する点

- 1 主体的な活動、協同的な遊び
- 2 見る、聞く、話す力の育成
- 3 計画性・柔軟性のある環境・援助

《経験させたい内容》

◎飼育物に愛着をもち、前5歳児から教えてもらったことを思い出したり、新たに考えたりしながら、自覚をもって当番活動をする。

《活動の概要》

【事前 4歳児の頃】

- ・4歳児の2月～3月にかけて前5歳児とともに飼育当番を行い、当番活動の仕方を知る。また、飼育物に愛着をもつ。
- ・興味のある幼児を中心に教師と一緒に飼育物の世話をする。飼育物の世話をする中で、みんなでやりたいという思いが出てきて、当番をしていくことをみんなで話し合った。

【前日】

- ・前日の降園時に当番について確認する。

【当日】

- ・当番活動に期待をもって登園する。「グループ表」を見て改めて飼育当番であることを確認する。
- ・一日の生活の流れを表等で確認し、その時間になるとグループ同士で声を掛け合い、飼育当番をする。

《環境》(園庭)

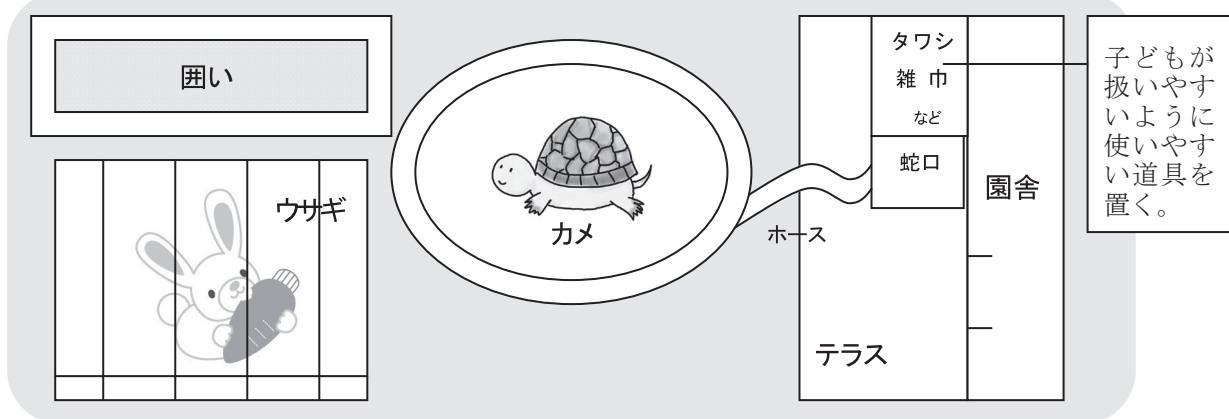
- ・飼育物の世話がしやすいような環境をつくる。

餌の容器、新聞紙等世話に必要なものなどは、幼児が扱いやすい大きさ、量、配置にする。

飼育物のゲージは小動物に適したもの、幼児が掃除しやすいもの、世話をする際に場所を移動しやすいもの(大きさ、もち手付、タイヤ付等)にする。

世話をする際は、囲いの中に小動物を移し、自由に動けるようにする。

- ・飼育に慣れていない時期には、保育者も手伝ったり、一緒に考えたりしながら、子どもが自分たちで進めていく自覚がもてるようにする。



《活動の展開》

子どもの姿	保育者の援助・環境の再構成 下線は、経験させたい内容にかかわる援助
<p>【前日】 -----</p> <p>②降園時、次の日の当番を全体で確認する。</p> <p>【当日】 -----</p> <p>⑤期待感をもって登園し、「グループ表」と「一日の流れの表」を見て、自分の当番を確認する。後から登園した当番の幼児に知らせる。</p> <p>⑥当番をする時間になると、当番という意識のある幼児がグループの友達に声を掛け、それぞれが自覚して飼育物のそばに集まる。忘れていた幼児には、友達が知らせる。</p> <p>⑧飼育物を園庭に運び、世話をする。</p> <p>⑨やり方が分からなくなると、自分たちで考え「前の〇組さんはこうしていた！」「こうやって教えてもらった。」と思い出しながら行う。</p> <p>⑩「おなかすいた？」「汚れちゃったね、今きれいにするからね。」など飼育物に声をかけながら行う。</p> <p>⑪「私、ご飯あげるね。」「僕、洗う。」など所々役割分担をしながら世話をする。</p> <p>⑫世話が終わり飼育物を保育室へ運ぶ。きれいになったことを喜ぶ。</p>	<p>①<u>一日の流れや当番表を絵や図、文字を使って分かりやすいところに掲示しておく。</u></p> <p>③「よろしくね。」「頼んだよ。」など当番に期待する声を掛ける。</p> <p>④世話をするための子どもが扱いやすい道具を使いやすいところへ用意しておく。</p> <p>⑦忘れていた幼児がいるときに、自分たちで気付いて、お互いに声を掛け合えるように、グループに「これで全員ですか？」などと声を掛ける。</p> <p>⑩<u>前年度に教えてもらったことを思い出したり、自分たちでどうするか考えられたりする言葉掛けをする。</u></p> <p>⑫<u>飼育物に対する愛着を育むように、飼育物の気持ちに寄り添うような子どもの言葉に共感したり、保育者も飼育物への思いを言葉にしたりしていく。</u></p> <p>⑭「気持ちよくなったね。」「みんながきれいにしてくれたからうれしそうだね。」など「<u>自分たちがお世話したからこそ気持ちよく過ごせる。</u>」という気持ちをもてるような言葉や<u>子どもの取組を認める言葉を掛ける。</u></p>

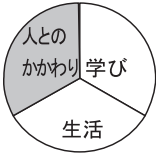
3つの柱 生活

◆この時期の援助・環境の構成のポイント

- 当番のやり方を身に付けることだけでなく、世話をする飼育物への思いやりの気持ちや人の役に立つうれしさ、自分の役割の大切さなどを味わえるようにしていく。
- 前年度から前5歳児の当番活動の様子を見たり、飼育物との触れ合いを繰り返したりしながら、必要性や責任感が出てくるようにしていく。また、当番をする中でよかったことや困ったところなどをクラスで取り上げるようにしていく。

◆小学校につながる点

- 生活の中で必要なことを自分や友達との協力で取り組むことや、責任をもって最後まで取り組もうとすることは、自分たちの生活を自分たちで進めていくことにつながる。



3つの柱

人とのかかわり

(例)

「みんなで高い山を作ろう」(砂場遊び)

5歳児 4月下旬

《ねらい》

- 一つの遊びを共有する中で、目当てに向かって、友達と一緒に最後まで活動する喜びを味わう。
- 友達の動きや言葉を感じ取りながら行動する。

◆保育・教育の実践において重視する点

- 1 主体的な活動、協同的な遊び
- 2 見る、聞く、話す力の育成
- 3 計画性・柔軟性のある環境・援助

《経験させたい内容》

- ◎一つの山を一緒に作ることで、友達同士でイメージを共有し「みんなで作ったらできた。」という達成感や喜びを味わう。
- ◎それぞれが自分の力を試し、トンネルを作る中で、友達とつながるうれしさを感じる。

《活動の概要》

- ・砂場で、男児数名が個々に遊んでいた。
- ・一人が山を作り始めたので、保育者も仲間に入り大きな山の作り方を伝えたり、一緒に考えたりしながら作っていると、その姿を見ていた幼児も参加する。
- ・幼児同士で役割分担をしながら山を作り、完成する。
- ・山にトンネルを作り、トンネルの中で友達と手をつないだり、さらに多くのトンネルを作ったりする。
- ・その後、山に車を走らせたり、道を作ったりして遊ぶ。

《環境》(園庭)



《活動の展開》

子どもの姿	保育者の援助・環境の再構成 下線は、経験させたい内容にかかわる援助
<p>①男児数名が砂場で遊ぶ。一人の子どもが「大きな山を作りたい。」と担任に伝え、一緒に大きな山を作り始める。</p> <p>③それを見ていた他の子どもも仲間に入る。</p> <p>⑤みんなで大きな山を作る。作り方を子ども同士で伝え合う。作っていくうちに「砂を持ってくる子ども」「砂山を固める子ども」など役割分担ができる。</p> <p>⑦「富士山なの！」「日本一なんだよ。」などと保育者に言う。</p> <p>⑧砂山が完成し、「やったあ！」「日本一だ！」と言いながら喜ぶ。</p> <p>⑩車を持ってきて走らせる子どもに別の子どもが「トンネルは？」と聞いたことでトンネル作りが始まる。</p> <p>⑫それぞれが好きな場所でトンネルを掘り始める。しばらくすると隣同士でトンネルが開通した。思いがけず友達と手が触れ、驚くとともにうれしそうに手をつなぎ「先生！○○ちゃんと手がつながった！」と言う。</p> <p>⑭それを見ていた子どもも誰かにつながるかもしれないと、一生懸命掘り続ける。</p> <p>⑮全てのトンネルが友達のトンネルとつながり、みんなで喜ぶ。</p> <p>⑰山を中心に道を作ったり車を走らせたりして遊ぶ。</p>	<p>②<u>子ども同士がつながるように保育者も遊びに入り、子どもと一緒に山を作りながら大きな山の作り方を伝えたり一緒に考えたりする。</u></p> <p>④他の子どもがきて、一緒に作り始めたので、<u>自分たちで作ってほしい</u>と思い、保育者はその場を離れ見守る。</p> <p>⑥砂場に戻り、大きくなった山を見て、「<u>みんなで作っているからこそ大きな山になってきた</u>」ということを認めたり、<u>イメージを共有できるように声を掛けたりする。</u></p> <p>⑨保育者も喜びに共感する。</p> <p>⑪イメージをもって遊び出した子どもを認める言葉を掛ける。</p> <div data-bbox="874 875 1358 1240" data-label="Image"> </div> <p>⑬つながった喜びに共感するとともに、<u>周りにも伝える。</u></p> <p>⑯全員のトンネルがつながったときに、改めて誰とつながったか聞いたり手をつないで喜んでいる様子を認めたり、保育者自らトンネルで子どもと手をつないで喜びに共感したりする。</p>

3歳児

4歳児

5歳児

一年生

生活

人とのかかわり

学び

3つの柱

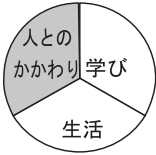
人とのかかわり

◆この時期の援助・環境の構成のポイント

- 友達と一緒に自分たちの遊びを実現したり、共に遊ぶ楽しさが味わえたりするような環境を準備する。
- 自分の思いを出しながら友達との遊びを楽しめるように、保育者が一人一人の思いやイメージ、考えを引き出し、友達に伝えられるように援助する。

◆小学校につながる点

- 友達と一緒に目標に向かって取り組む中で、友達と一緒にだからこそできた、という達成感を感じることが、友達と協力して取り組む大切さを知るきっかけにつながる。



3つの柱

人のかかわり (例)

「高齢者との交流」

5歳児 12月

《ねらい》

○地域の方(高齢者)と喜んでかかわり、親しみをもつ

◆保育・教育の実践において重視する点

- 1 主体的な活動、協同的な遊び
- 2 見る、聞く、話す力の育成
- 3 計画性・柔軟性のある環境・援助

《経験させたい内容》

- ◎高齢者との交流を通して、親しみや尊敬の気持ちや思いやりの心、優しさなど様々な感情を体験する
- ◎喜んでもらえたうれしさを感じる
- ◎訪問のマナーを守る

《活動の流れ》

(事前)

- ・7月の七夕に高齢者福祉施設を訪問しておじいちゃん、おばあちゃん達と笹飾りを作った経験がある。
- ・1回目を踏まえて事前に施設職員との打ち合わせをする。
- ・高齢者福祉施設へ訪問の予定を話し、おじいちゃん、おばあちゃんが喜ぶ事を考えようと投げかける。
- ・子どもたちが家庭で祖父母に聞いたり、家族とのやり取りなどのなかで考えてきたりしたことを踏まえ、クラスで話し合う。合奏(ジングルベル)、手遊び、肩たたき・マッサージ、ネックレスを作りプレゼントすることに決まる。
- ・訪問日時が分かるようにカレンダーに示し、子どもたちが期待をもって準備できるようにする。
- ・施設訪問時のあいさつや施設職員の話をよく聞いて参加することなど知らせ確認する。

(当日)

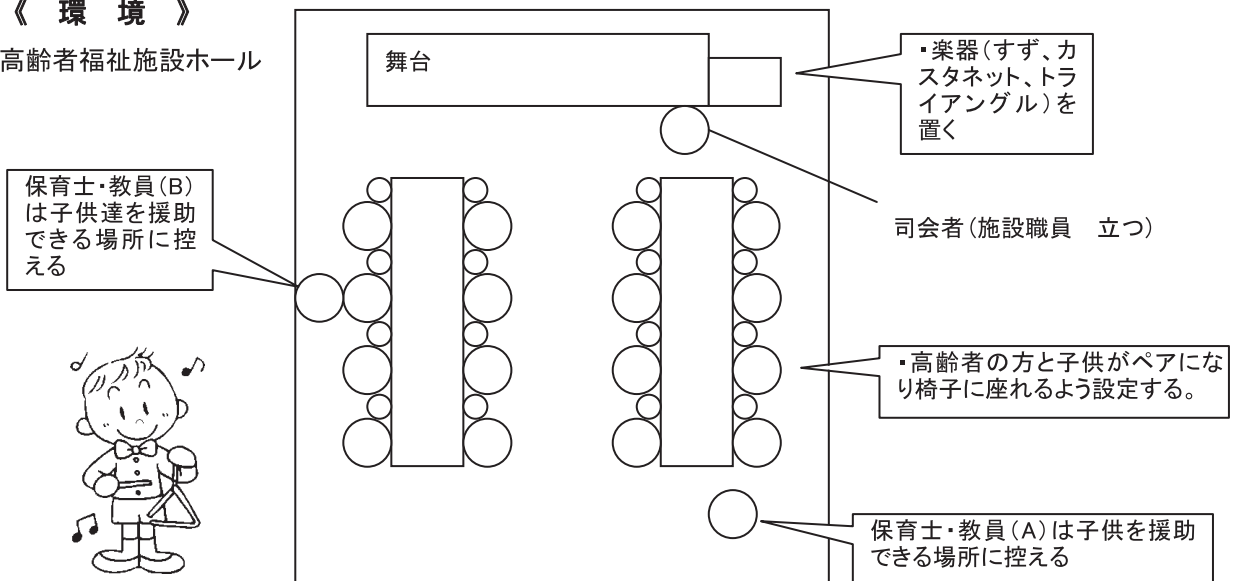
- ・保育士・教員2名で引率、楽器(すず、カスタネット、トライアングル)、プレゼントを運ぶ。
- ・プログラム ①あいさつ ②施設職員の劇 ③合奏(ジングルベル)
④手遊び(げんこつ山のためきさん) ⑤プレゼント交換

(事後)

- ・今回の高齢者との交流を次の活動につなげていく。

《環境》

高齢者福祉施設ホール



《活動の展開》

子どもの姿	保育者の援助・環境の再構成 下線は経験させたい内容にかかわる援助
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者福祉施設を訪問する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「前会ったおじいちゃん、おばあちゃんいるかな」 「喜んでくれるかな」「どきどきする」など様々な姿がある。 ○ 施設に到着し職員に挨拶をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・舞台上1列に並び招いていただいたお礼のあいさつをし、指定の席に座る。 ・相手の方に「〇〇です」と名前を伝えあいさつ、握手をする。 ○ 施設職員による劇を見る。 ○ 「プログラム③合奏」と言われそれぞれ前に出る。 <ul style="list-style-type: none"> ・パートごとにまとめり1列に並び楽器を渡してもらう。 ・聞いてもらうことを喜び楽しんで演奏し歌う。 ・席に戻る。 ○ 「上手だったね」「かわいかったよ」など褒められ、「ほんと?」「ありがとう」など高齢者と会話する。 ○ 席でペアの高齢者と手遊び「げんこつ山のためきさん」をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「知ってる?」「教えるね」など話しかける。 ○ 肩たたき・マッサージをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「肩たたきとマッサージどっちがいいですか?」 ・「気持ちいい?」「痛くない?」など聞き、力を加減しようとしている。 ・「ありがとう」「いい気持ち」など感謝され喜ぶ。 ○ プレゼント交換をする。高齢者が作ってくれた千代紙のバックのプレゼントをいただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・「わあーきれい、おばあちゃんが作ってくれたの? 上手だね、ありがとう」「〇〇もプレゼントのペンダント作ったよ」と笑顔で首にかけてあげる。 ○ お礼を言い、さようならのあいさつをして退場する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問当日「おじいちゃん、おばあちゃんたちが待っていますよ」と期待をもたせる言葉がけをする ○ 保育士・教員(A)(B)は役割分担する ○ 施設に到着、職員にあいさつする。 ○ 楽器を所定の場所にパートごとに並べて置く。(B) ○ 子どもたちが訪問を楽しみにし、準備してきたことなどエピソードを交えず教員・保育士があいさつする。(A) ○ 速やかに着席できるように2列で誘導する。(A,B) ○ 保育士・教員はそれぞれ子どもたちのテーブルそばにつき、<u>子どもの様子に注意を払い緊張している子どもには気持ちを和らげるような声がけをする。</u>(A,B) ○ 劇を楽しむ子どもたちの気持ちを受け止めつつも騒がしくならないように援助する。(A,B) ○ 1列に並んだ子どもにパートごとに楽器を渡す。(B) ○ 子どもの様子を見ながら伴奏する。(A) ○ 緊張している子どもに励ましの声をかけるなど状況によって援助する。(B) ○ 楽器を速やかに回収する。(B) ○ <u>高齢者と気持ちの交流ができるようにする。</u>(A,B) ○ 高齢者の中には表情の硬い方や反応の少ない方もいる。<u>高齢者の様子に合わせ、子どもとの関係を援助する。</u>(A,B)ありのままの姿を認める保育者の姿勢が大切である。 ○ <u>高齢者とのやり取りを楽しみ、やさしく肩たたき、マッサージができるよう声かけしながら席を回る。</u>(A,B) ○ <u>感謝の気持ちを表せるように相手のおじいちゃんおばあちゃんの顔を見てお礼を言ったり、プレゼントを渡したりするように伝える。</u>(A,B) ○ <u>会に参加した子どもたちの思いと感謝の気持ちを交え感想とお礼を言う</u>(B)

《小学校につながる点》

- 高齢者と交流し、緊張、親しみ、役に立つ喜びなど様々な感情を体験することで人とのかかわる心地よさやコミュニケーション力を育む。
- 地域の様々な人とかかわることで地域への親しみの気持ちを育てる。
- 地域の様々な施設に親しみをもつきっかけとなる。



3歳児
4歳児
5歳児
一年生
生活
人とのかかわり
学び